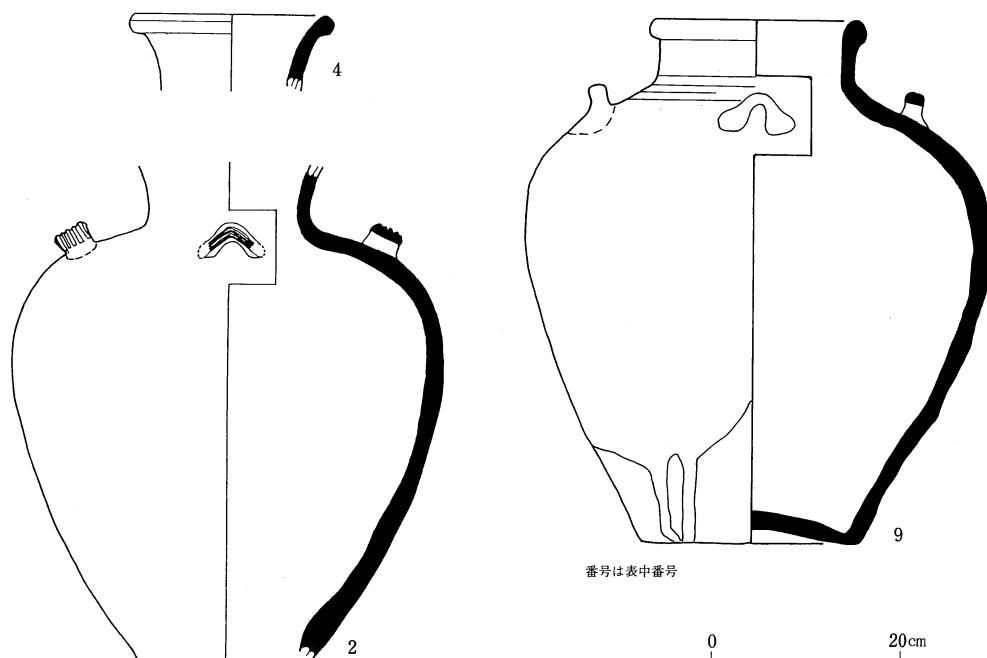


4. 松本市内出土の古瀬戸系陶器四耳壺

松本市内からは、古瀬戸系陶器とみられる四耳壺が6遺跡から10点（個体数）出土している。出土した遺構は、墳墓・供養塔2、住居址3、土坑3、建物址1、検出面1である。それらは墳墓・供養塔より出土したもの以外は破片資料である。鉢塚より出土した四耳壺からは、骨などの遺物は出土しなかったが、石積みされた塚に四耳壺を正位に埋設しており蔵骨器として考えられる。蔵骨器としては、松本市内において和田衣外出土の四耳壺について2例目である。長野県内で出土する古瀬戸蔵骨器は、鉢塚・和田衣外などのように、単独で営まれた墳墓から出土する例が多いとの指摘がすでにされている⁽¹⁾。これは当地方における墳墓の造られ方が、滋賀県日野大谷遺跡・静岡県一の谷中世墳墓群などのような大規模な墳墓群とは様相を異にしているためであろう。当該地における墓址群の例としては、鉢塚の北西約1kmの地点に位置する向畠遺跡で中世から近世（13～15Cが中心）にかけての土坑墓群が発見されている。中世において一般的であった墓制はむしろ向畠遺跡でみられるような墓制であり、土石で塚を盛り、そこに蔵骨器を埋設した墳墓は特殊であったと考えられる。

註1：藤沢良祐氏は「長野県出土の古瀬戸について特に蔵骨器を中心として」『信濃』第31巻第11号において県内12ヶ所の中世墳墓の分布・立地・出土状況についての考察を述べている。



第125図 松本市内出土の古瀬戸系陶器四耳壺

第8表 松本市内の古瀬戸四耳壺出土地一覧

番号	遺跡名	所在地	出土遺構	時期	文献
1	神戸遺跡	松本市笛賀	SK278	13C前半	1
2	北栗遺跡	松本市島立	SB252	13C	2
3	〃	〃	SB270	?	2
4	〃	〃	SK1690	13C(?)	2
5	〃	〃	北部南区	?	2
6	三の宮遺跡	松本市三の宮	SB190	?	3
7	〃	〃	SK2270	14C(?)	3
8	北方遺跡	松本市島内	ST8・P2 ST9・P2 SK606	13C	4
9	衣外	松本市和田	供養塔下	14C(?)	5
10	鉢塚	松本市中山	墳墓(?)	13C	今回報告

備考：SKは土坑，SBは竪穴住居址，STは建物址

- 文献 1：『中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書』19 長野県埋文センター
 2：『』 〃 8 1990 長野県埋文センター
 3：『』 〃 „ 1990 〃
 4：『』 〃 10 1989 〃
 5：『松本市和田衣外四耳壺出土報告書』1972 松本市教育委員会